

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健統計学 I		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
藤井 充	306	mitsuru.fujii	水曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	看護職の業務において、根拠に基づいた対応が必要になってきている。保健統計学 I では、看護業務や看護研究において必要となる基本的な保健統計の知識を修得することを目的とする。自宅課題学習を踏まえた講義・演習により、保健統計学による健康事象の把握、分析方法について理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	1年次の講義「統計学」で学んだ統計処理の基本的知識が必要となるため事前に復習しておくこと。				
教科書	やさしい保健統計学 [改訂第5版増補] /著:懸俊彦 /南江堂 /2019				
参考書	特になし				
外部教材	なるほど統計学園 (総理府統計局) https://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	保健統計を正確に読み解くことができる。		HSU(2),NS(5)		
②	各種データについて保健統計を応用して分析することができる。		HSU(2),NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	保健統計学の基礎について学ぶ。 日本の人口について学ぶ。	講義・演習	基本的な用語とデータについて理解すること。	2	
2	代表値について学ぶ。 世帯の状況について学ぶ。	講義・演習	平均値、中央値、最頻値について理解すること。 世帯統計について理解すること。	4	
3	散布度について学ぶ。 健康の状況について学ぶ。	講義・演習	標準偏差について理解すること。 健康統計について理解すること。	4	
4	相関について学ぶ。 介護の状況について学ぶ。	講義・演習	相関係数と回帰直線について理解すること。 介護統計について理解すること。	4	
5	確率分布の基礎について学ぶ。 出生の状況について学ぶ。	講義・演習	確率概念について理解すること。 出生統計について理解すること。	4	
6	確率分布の種類について学ぶ。 死亡の状況について学ぶ。	講義・演習	正規分布など主な確率分布の性質について理解すること。 死亡統計について理解すること。	4	
7	母集団の推定について学ぶ。 母子保健統計について学ぶ。	講義・演習	母集団の平均、比率、相関の推定について理解すること。 母子保健統計について理解すること。	4	
8	仮説検定について学ぶ。 その他保健統計調査について学ぶ。	講義・演習	仮説検定の基本的な考え方について理解すること。 各種保健統計について理解すること。	4	
試	定期試験、達成度評価・評価のポイント参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	40	100
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	20	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	筆記試験 (計算問題を含む) の正答率で評価				試験採点后、正答率が悪い問題についての解説をメールで配信
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①	✓	毎回の講義の前及び講義の際に課す課題の提出状況を評価 講義の出席状況・出席態度を評価				課題についての説明解説
	②	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	公衆衛生医師として、厚生労働省、保健所等に 40 年間勤務						
実践的授業の内容	保健所での経験をもとに、看護職として現場で経験する可能性があることを取り上げ、理解を深める。						
その他	・学習内容は、講義の進行度によって前後する可能性がある。						